

令和元年度 教員地域貢献活動支援事業(協働型) 成果報告書

課題名	新港地区発ヨコハマ“もの”&“コト”の共同開発	
研究者	代表教員氏名	国際商学部 教授 中條 祐介
	事業ユニットの構成(代表者除く)	
提案者	株式会社横浜インポートマート	
課題	<p>横浜ワールドポーターズ(YWP)は今期20周年を迎え、更なる情報発信力と求心力を高めることが課題と考えており、来街者へ向けて魅力的な“コト”を発信するほか、平成29年度から取り組んでいる 歴史継承をテーマとした“もの”づくり(トランプ・マスキングテープ)の販売・配布を計画している。その他、YWPが中心となって開催する新港地区のスタンプラリーへの学生の参画も検討している。</p>	
課題解決の方法	<p>更なる情報発信力と求心力の向上のために、過年度に作成した“もの”(トランプ・マスキングテープ)を活用していく。さらに、スタンプラリーへの参画やワークショップ等、“もの”と連動した“コト”を開催することで、顧客ターゲットの多様性を高め、YWPへの来場者数増加を目指す。</p> <p>ものの活用方法としては、イベントでの配布や販売活動を計画している。コトでは、スタンプラリーへの参画と、新港地区の魅力の一つである歴史を伝えられるような企画立案を行い、“もの”と“コト”の連動を実現する。</p>	
研究実績報告(スケジュールと内容・成果)	<p>4月 事業全体の目標のすり合わせを行い、開発した商品の有効活用を目標に“もの”と“コト”について業務分担を決定した。また株式会社横浜インポートマート(YIM)と最終年度となる平成31年度における計画のすり合わせを行なった。</p> <p>もの班:3月に実施した開発した商品に関するアンケートに関して分析を行い、開発した商品が新港地区の魅力発信に貢献の可能性が認められることを確認した。</p> <p>5月 YIMと今年度の方針・計画を策定した。</p> <p>もの班:YIMと調整し、開発したマスキングテープのイラストを横浜ワールドポーターズ内の壁紙として活用することを決定した。</p> <p>6月 YIMと今後のスタンプラリー企画に関して打ち合わせを行なった。</p> <p>7月 もの班:横浜貿易協会様が発刊している機関紙に商品の情報を掲載する事が決定し、広報活動を実施。</p> <p>コト班①9月～10月に開催予定のモザイクアートに関し、マスキングテープを配布し、新港地区の魅力の発信に活用することを検討。</p> <p>コト班②夏休み企画として、YIM主催のスタンプラリー企画に向け、使用する台帳に記載する横浜の観光名所の説明文を作成。(最終的な調整の結果、台帳の説明文作成のみ協力・提供することとなった。)</p> <p>8月 もの班:神奈川歴史資料館の館長との対談を実施した。開発したグッズについてアドバイスをいただいた。</p> <p>コト班:①スタンプラリー台帳の説明文の作成を引き続き行なった。</p> <p>コト班:②モザイクアート活動の準備を進めた。</p> <p>9月 コト班:モザイクアート活動(9月分)を実施し、ノベルティとして開発したマスキングテープを配布。</p> <p>ゼミ合宿にて、12月に開催予定のクリスマスワークショップで扱う素材と開発したグッズの有効活用に関して意見交換を行なった。</p> <p>10月 コト班:①モザイクアート活動(10月分)を実施。</p> <p>コト班:②9月のゼミ合宿で話し合ったクリスマスワークショップに関して、YIMと打ち合わせを行い、詳細に関して話し合った。</p> <p>11月 コト班:①モザイクアート活動で集めた写真を用いて、モザイクアートを作成し、YIMと業者に協力いただき発注を行なった。</p> <p>コト班:クリスマスワークショップで扱う素材に関して話し合いを行い、備品や素材の発注を行なった。</p> <p>12月 コト班:①クリスマスワークショップの実施</p> <p>コト班:②出来上がったモザイクアートを横浜ワールドポーターズ内にて展示。</p> <p>1月 平成31年度/令和元年度の実施企画の振り返りを行った。</p> <p>2月 年度末報告会でのプレゼンテーション(今年度の活動報告及び来年度予定している活動と年間スケジュールの共有)を予定していたが、コロナウイルス感染予防のためプレゼンテーションは中止。代表者が報告書の手交を行った。</p>	
得られた効果及び自己評価	<p>総論として、当初予定していたグッズの販売活動は規程により実施できなかったものの、開発したグッズを新港地区の魅力発信のツールという方向に転換し、「もの活動」と「コト活動」の両方の観点から計画を策定した。このような方針の転換によるグッズ活用策で、20周年を迎えた横浜ワールドポーターズの魅力発信とリピーターの確保に一定の役割を果たしたと評価している。</p> <p>情報発信ツールとしての有効性は、平成31年3月に実施した学内アンケートの分析からは、開発した商品(トランプ)が好評であったことに加えて新港地区の魅力発信に有効な商品であるという意見を大多数から得ることができた。またモザイクアート活動やクリスマスワークショップのイベントではトランプ約300個とマスキングテープを約1000個配布し、参加者数に関してはモザイクアート活動では約400名、クリスマスワークショップでは約150名と非常に多くの方にイベントに参加いただくことができた。またノベルティ配布を通じて、新港地区の魅力を伝える事ができる「もの」を効果的に活用できたと感じている。</p> <p>新港地区を一体化するストーリーの完成として、もの活動とコト活動の両方を連動させ、多くの方に効果的に新港地区の魅力を発信する事ができたと考えられるので、当初の計画通りの成果をあげる事ができたといえる。貴重な機会を提供いただいたYIMIに感謝申し上げる。</p>	

今後の課題と展開					
令和元年度の活動をもって連携活動は終了となった為、特になし。					
研究発表(投稿準備中、投稿中、発表予定を含む)					
特になし。					
研究成果による知的財産権の出願・取得状況					
知的財産権の名称	発明者名	権利者名	知的財産権の種類、番号	出願年月日 (和暦)	取得年月日 (和暦)
該当なし					